

## 「2025 韓日未来発展セミナー」に参加しました

令和7年11月28日(金)

11月28日(金)、日本と韓国の国交正常化60周年を記念した上記のセミナーに本校の職員が参加しました。

セミナーは駐名古屋大韓民国総領館主催で開催されたものです。セミナーに先立ち、昨年度本校



で講演していただいた、駐名古屋大韓民国総領事の金星秀(キム・ソンス)様のご挨拶がありました(本校HPをご参照ください。[18-20241024.pdf](#) 「駐名古屋大韓民国総領事をお迎えして」)。

その後、小牧地区日韓親善協会 常任顧問の川島公子様による「日韓友好交流 40年間の経験—草の根交流が韓日未来を導くー」というタイトルで、講演されました。川島様は御年84歳になられたそうですが、元小牧市議会議員(議長)を務められたこともあってか、1時間以上に及んだにもかかわらずわかりやすく、ユーモアを交えながら講演されました。その後、メディアの方からのご質問にもしっかりとお答えになってみました。なお、ご講演の内容は、以下のとおりです。

- ・39年前韓国に行ったが、一言も韓国語が話せなくて残念な思いをした。
- ・それ以後、自宅のいろいろな場所に日常会話でよく使う韓国語のフレーズを貼って、会話のトレーニングをした。
- ・現在でも若者たちに「こんな年齢の方でもチャレンジしている。」という勇気を与えるため、韓国語のスピーチコンテストに出続けている。
- ・韓国は儒教の国であり、年配者を敬う文化が根付いている。
- ・未来を語るためには、過去や現在をしっかり見つめる必要がある。
- ・韓国に行った際、カラオケを地元の方と一緒にやったが、韓国語で唄って100点を出したことがある。
- ・人と人とのつながりは、アフターケアにあり。

2時間に及ぶ講演の後、直接川島様と話をする機会をいただきました。そこで来年度本校が韓国修学旅行に行く予定であるとお伝えしたところ、講演会の内容にもあったように「韓国は儒教の国なので、その文化を事前に生徒たちに伝えることが大事ですよ。もし必要ならお手伝いしますよ。」と言っていただきました。

本校はこれからも各国領事館(アメリカ・中国・韓国・カナダ・トルコ・ブラジル・ペルー・フィリピンの8領事館)との交流を大切にし、継続的な繋



がりを大切にていきます。まさに今回のご講演にあった「人と人とのつながりは、アフターケアにあり。」をこれからも実践します。世界に目を向けた学びを提供し続ける本校に、今後もご期待ください。

愛知県立津島高等学校・附属中学校 教頭 金澤 学